

# 県内ウォームビズ開始

冬の地球温暖化対策として、職場や家庭で暖房の使用をできるだけ控える「ウォームビズ」が2日、県内の官公庁や企業で本格的に始まった。暖房時の室温を20度に設定しても快適に過ごせるよう重ね着などを工夫する。一方、気候に応じた服装を個人に委ね、11月以降もネクタイの着用を「こだわらない」「通年ノーネクタイ」を始めた企業もある。

ウォームビズは環境省が2005年から提唱。11月1日～翌年3月末を期間に、室温が20度でも快適に過ごせる生活スタイルを目指すとともに、住宅の断熱性能の向上や省エネ家電の導入を呼び掛ける。

2日は雨が降る肌寒い一日となり、県庁では、職員が上着をはおったり、ひざかけを使ったりして業務に当たった。今後、庁舎内では室温18度を目安に暖房を設定する。

同市亀井町の百十四銀行本店でもネクタイをした男性行員やカーディガン姿の女性行員が見られた。今季は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、冬でも

## 通年ノーネクタイ実施も

空気入れ替えなどが求められるが、同行は「感染防止対策を図りながら、消費電力の削減に取り組みたい」としている。

一方、通年ノーネクタイ



膝掛けを使用しながら仕事をする女性職員＝県庁

は、夏の職場をノーネクタイ姿があった。担当者は「各自が働きやすい格好の服装で過ごす」「各自が働きやすい格好の服装で過ごす」11月以降も気温が高い日があふることや、働きやすい職場環境づくりの一環として、全国的な企業で徐々に広がっている。11月から導入した香川銀行は、制服貸与者を除く全役職員が対象。大豊産業（高松市）も同市寿町の本社などで取り組み始め、10月までと変わらない服装で仕事をこなす社員の

環境省は来年度以降、ウォームビズやクールビズについて期間を設けず、実施期間を企業や個人に委ねる方針。県は呼び掛け自体は継続するが、期間を定めて啓発するかは未定としている。



通年ノーネクタイを始めた企業。気候に応じて服装を柔軟に選べるようにしている＝高松市

### 自治体クラウド 共同導入

高松、松山、倉敷が協定

高松市、松山市、岡山県 協議会を立ち上げて作業を

ド  
AWA

コスメ由来の成分「ライスパウ  
ーエキス」を配合した高機能化  
粧品の製造販売などを手掛ける

### 肌に優しいタオルを

初コラポ

香川大学の学生による  
サイバーパ  
県警、禾  
イパー防犯ボランティア  
成に向け、県警生活環境  
はこのほど、県警本部で  
同大情報メディアセンタ  
に所属する学生を対象と  
た研修会を開催。参加者  
ンターネット上の有害  
報の発見や通報など、サ  
パーパトロールの手法を  
んだ。  
香川大と県警が3月、

### ミニニュース

●私募債発行 エヌケー建設（高松市）は2日、香川銀行の保証付き私募債を発行した。発行額は1億円、発行期間5年の満期一括償還。同行が全額引き受ける。調達資金は運転資金に充てる。

●クラウンを一部改良 トヨタ自動車は高松市でクラウンの一部改良モデルを発表した。